土谷棚田を後世に

される土谷棚 そして未来へ

によって多くの人に伝えられています。 魅了し、多くの人に愛されてきています。 土谷棚田の美しい風景は、地区住民や土谷棚田のファン 水面が夕日に照らされ美しく輝く光景は、多くの人々を

多くの人に愛される 土谷棚田

業する人や夕日に輝く棚田を撮影す 4月下旬から5月上旬に、棚田で作 約10年ほど前からです。それまでは、 土谷棚田が注目され始めたのは、

> 程度でした。 るため、数人の写真愛好家が訪 しかし、ここ数年で田植えの季節 れる

らず観光客の注目を集め、 光スポットとして写真愛好家のみな ことでした。それに伴い、新たな観 日に輝く棚田として取り上げられた 交換などで、さらには雑誌などで夕 なったのが、写真愛好家同士の情報 え始めています。そのきっかけと 人でにぎわいを見せています。 日に輝く田植えの季節には、多くの にも土谷棚田を訪れる人が徐々に増 棚田が夕

ど多くの賞を受賞しました。 が評価され、平成17年の第10回ふる ンテスト特別賞(道守九州会議)な 興技術連盟)、第1回とるぱフォトコ 備事業広報大賞優秀賞(全国農村振 受賞をはじめ、平成16年度の農村整 性化センター)の産業・観光部門賞 さとイベント大賞(財団法人地域活 景観保全活動、周辺施設の整備など また、火祭りの開催や地域主体の

土谷棚田を訪れる多くの写真愛好家

写真撮影に訪れた 川添 茂弘さん (福岡市、 **50**)

今年は写真に挑戦しました。 土谷棚田の火祭りを見学して帰っていましたが などの自然を主に撮影しています。昨年までは 写真をはじめて間もないのですが、花や棚

土谷の棚田は海に面したなだらかな地形で、

までもこの光景が続いてほしいです。 張られ、すばらしい景観を保っています。い ましたが、土谷棚田はほとんどの田んぼに水が ここに来るまでに休耕田が多いのが気になり

む景色、水田に映し出されるたいまつは最高で やすらぎを与えてくれます。海、島に夕日が沈

多くの人が訪れる場所に

み壊すといった被害が発生してい めたころは、付近を通行できない 田へ立ち入った観光客があぜを踏 ほどの路上駐車やゴミの放置、棚 観光スポットとして注目され始

場やベンチ、休憩所などが設置さ 沿いの場所を、駐車場兼展望所と れ、大型バスでの観光客も増加 います。現在は、舗装された駐車 して整備し、観光客を受け入れて そこで、棚田を一望できる県道



土谷棚田に整備された展望所

すばらしい風景が魅力です

ファンと共に情報発信

で取り上げられる機会が多くなり、 テレビや新聞、雑誌などで全国規模 そこで、もっと多くの人に土谷棚 土谷棚田は、火祭りの開催などが

組みを紹介し、地域活性化の後押し 真愛好家が、ファンクラブを結成し、 田の魅力を伝えたいと、保存会と写 着実に知名度を上げています。 行っています。 や棚田の重要性について情報発信を 全国に向けて土谷棚田の風景や取り ています。土谷棚田に魅せられた写 術館」というホームページを開設し 真愛好家とが協力して、「土谷棚田美

安井一臣・東京都

土谷棚田に魅せられたファンが作ったホームペ

土谷棚田美術館ホームページアドレス http://www.doya-tanada.com

みが実を結び、美しい風景を求めて多く 境作りを進めています。 より多くの人が直接棚田に触れ合える環 在は体験型旅行や棚田オーナー制度など、 の観光客が訪れるようになりました。現 未来へ伝えたい棚田文化 地域の棚田保全や景観保全への取り組

えるための取り組みが続けられます。 て、今と変わらない土谷棚田の風景を伝 を守り、後継者を育て、大切な文化とし も大きくなる」と、棚田で耕作する人は話 けれども、苦労をした分だけ収穫の喜び します。これからも地域をあげて、 「棚田で米作りを行うことは重労働だ

土谷地区区長 末吉 政和さん (福島・土谷、64)

景観に優れた土谷棚田をいつまでも維持で

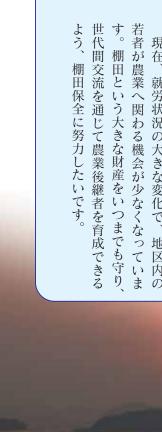
地区全体が協力して棚田保全に努

棚田保全と景観保全を

棚田の保全と後継者育成を

力しています。休耕田となった田んぼを、地 きるよう、 区で管理することで、

両立させています。 現在、就労状況の大きな変化で、地区内の



9 市報まつうら